



トキワ印刷通信



2017年
5月号

「トキワ印刷通信」とは、トキワ印刷が自社の紹介や印刷業界のさまざまな情報をお送りする情報紙です。

第10回

色校正について

色校正は、本生産前に印刷物で色の最終確認を行う行程です。
今回は、色校正を行う理由と方式（種類）のご紹介をいたします。

色校正を行う主な理由

カラーカンパ・モニタ(ディスプレイ)と印刷物の色の認識ズレをなくす

データ入稿の際にいただくカラーカンパは、本生産時の印刷機とは印刷方式・インキが異なり、再現色域の範囲が広いインクジェット等で出力された物が多く、本機印刷よりも綺麗に出力されているので最終的な印刷物との色味に差が生じます。また、モニタで見る色【RGB】と印刷で見る色【CMYK】も発色方式の違いにより当然異なります。このような色の認識ズレをなくし、本印刷時の色を正しくご確認いただく為に色校正を行います。

目標とする色がある

「この商品の色をこのサンプルの色に近づけたい」というように色補正のご依頼がよくあります。この場合、まずモニタ上で色補正を行いますが、補正の結果を確認するために必ず色校正を行う必要があります。

用紙の種類によって仕上がりが違う

同じデータ・同じ印刷機・同じインキで印刷したとしても、用紙の種類が変わるだけで色味に差が出る事が多くあります。特に、ホイル紙や風合いのある特殊紙を使用する場合には色校正が必須になります。

色校正の方式（種類）

簡易校正 (DDCP校正)

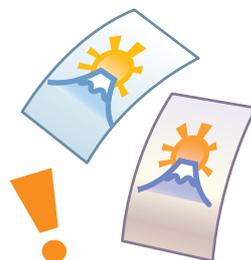
校正専用の大判インクジェットプリンターで印刷する方式。コストを抑えたい、色味にシビアではなくある程度色の確認ができれば良いという案件に。



● 他の方式に比べて短納期で安価



● 用紙・インキ・印刷方式は本生産時と異なる為厳密な色味の確認は出来ない。



平台校正 (本紙校正)

校正専用の印刷機で印刷する方法。最も一般的な色校正になります。色味を重要視する、実際の用紙に印刷した物が見たいといった場合に。



● 本生産時と同じ用紙・インキを使用する為、実際の印刷に近い仕上がり
● オフセット印刷機より使用する用紙も少なく安価



● 機械の構造がオフセット印刷機とは異なるため、色調の差異が若干生じる事がある



本機校正

オフセット印刷機で印刷する方式。色校正の段階で忠実な色再現を求められるタレント物やキャラクター物等の色味に非常にシビアな案件に。



● 本生産時と同じ構造の印刷機を使用するため、本生産時に非常に近い仕上がり



● 本生産時と同じ条件で、最小ロット分を印刷する事になるため、金額は割高
● 他の方式より納期を必要とする



安 コスト 高

簡易校正 平台校正 本機校正

早 納期 遅

トキワ印刷株式会社

(大阪本社) 〒540-0027 大阪市中央区錦屋町1-2-12

(東京営業所) 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-1-7 カーサ九段303号室

TEL:(06)6942-0201 FAX:(06)6942-4032

TEL:(03)6272-9794 FAX:(03)6272-9804

info@tokiwa-print.co.jp URL: http://www.tokiwa-print.co.jp facebook: https://www.facebook.com/Tokiwa.Print/

